

エコアクション21

2012年度環境活動レポート

活動期間 2012年 4月 ～ 2013年 3月



2013年 9月 9日 作成

東京都大田区城南島4丁目6番6号
高輪ディーゼル株式会社 本社城南島
代表取締役 杉崎武春

1. 環境方針

環境理念

高輪ディーゼル株式会社はメーカーと共にディーゼル車、ディーゼルエンジンの普及に努力し、ディーゼルエンジンの噴射ポンプの修理を通して、かけがえのない地球環境を守ることが私達世代の重要課題の一つであると考え、持続可能な循環型社会の形成に寄与出来る事業活動を目指します。

環境方針

1. 自動車におけるCO2排出を削減すべくクリーンな排出ガスの削減を推進します。
2. 資源の再利用を目標としリビルト製品の使用率を高めます。
3. 省資源、節水に積極的に取り組みます。
4. 環境関連法規及び当社が同意した各種協定を遵守し、化学物資の管理を行う。
5. 資源、エネルギーの消費や廃棄物の排出状況をチェックし、環境への負担を常に認識し、REDUCE, REUSE, RECYCLEに取り組み、グリーン購入を推進します。
6. 環境保全に関する目標を設定し、取り組み結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組んでいきます。
7. 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めるとともに、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については「環境レポート」に取りまとめ公表します。

2013年3月2日

高輪ディーゼル株式会社

代表取締役 杉崎武春

2. 事業の概要と認証登録範囲

(1) 事業社名

高輪ヂーゼル株式会社

代表取締役 杉崎武春

所在地

〒108-0023 東京都港区芝浦3-13-16

<http://www.takanawad.co.jp>

支店名

本社城南島 東京都大田区城南島4-6-6

※埼玉支店 埼玉県川口市北原台3-13-38

※群馬支店 群馬県伊勢崎市宮子町3512-5

※栃木支店 栃木県河内郡上三川五十分187-7

※リビルト事業部 埼玉県川口市北原台3-13-38

※は認証対象外です。日本経済の状況もありますが、今後準備、教育等を行い認証する予定です。

認証登録スケジュール

群馬支店、栃木支店

平成27年予定

埼玉支店、リビルト事業部

ISOを平成26年取得予定

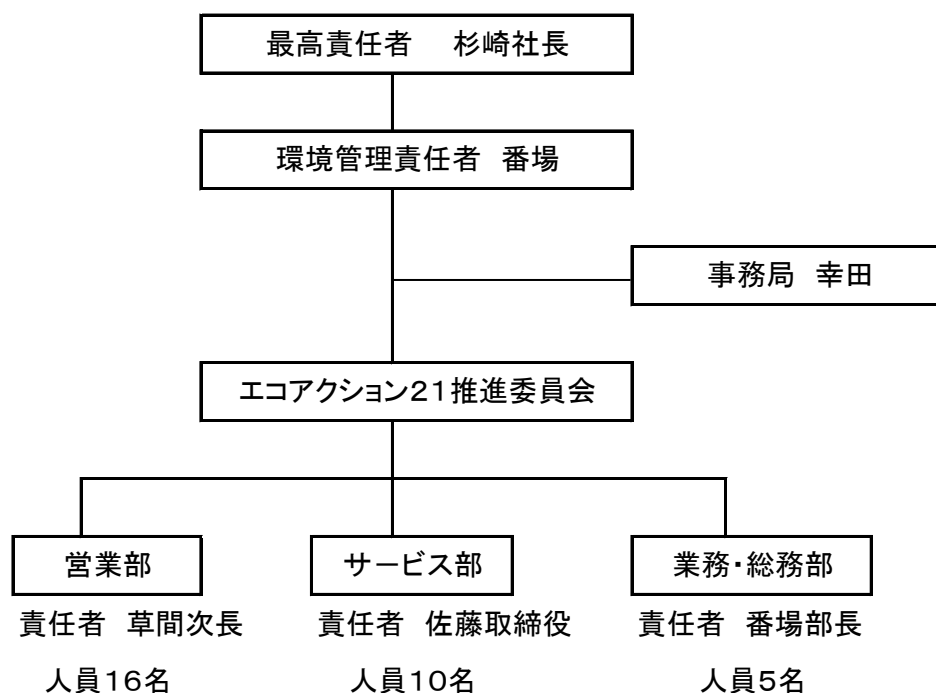
(2) 認証事業所名

高輪ヂーゼル株式会社 本社城南島

責任者 杉崎 武春

所在地 〒143-0002 東京都大田区城南島4-6-6

(3) 実施体制



エコアクション21推進委員会は、本社総務と各部署の責任者(課長以上)を委員として環境活動の実施状況及び結果を評価し、最高責任者である社長が見直しを行なう事を目的とした組織とします。

各部署は委員会で決定した事項に沿って活動を行なっています。

(4) 環境保全関係の担当者・連絡先

環境管理責任者 業務部部长 番場勇作

連絡先 TEL 03-3799-5766 FAX 03-3799-5610

E-mail banba@takanawad.co.jp

(5) 事業所の規模

活動規模	単位	2010年	2011年	2012年
売上高	百万円	815	839	883
従業員	人	31	31	32
床面積	m ²	999.08	999.08	999.08

(6) 事業(活動)内容

ディーゼル燃料噴射装置、ブレーキ機器、カーエアコン等の販売及び修理

3. 環境目標とその実績

当社の過去3年間の実績は以下の通りです (年度 : 4月～3月)

年間総量		2010年年度	2011年度	2012年度
ガソリン(燃料)使用量を減らす	総量 (L)	33,400	33,789	33,720
	原単位:L/百万	43.9	40.3	38.2
電力量を減らす	総量 (KWH)	141,308	122,009	129,934
	原単位:KWH/百万	185.9	145.4	147.2
リビルト品稼動率	%	6.0%	5.6%	6.9%
水使用量を減らす	総量 (m ³)	687	753	706
	原単位:m ³ /百万	0.78	0.78	0.78
廃棄物排出量を減らす	総量 (t)	72.70	75.10	79.90
	原単位:t/百万	0.10	0.10	0.10
二酸化炭素の排出量 ※	単位:T-CO ₂	136	129	132

※ 1、二酸化炭素排出量係数(電力量)は0.378kgco₂/kwh使用

2、二酸化炭素はガソリンと電力を合算したものです。 3、グリーン購入は増えている。

過去の環境負荷の自己チェックを行い環境負荷を分析した結果、下記の通り目標を定める。

環境目標		2013年度目標	2014年度目標
ガソリン(燃料)使用量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:L/百万	37.8	37.4
電力量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:KWH/百万	145.7	144.3
リビルト品稼動率	目標数値	6.2%	6.3%
水使用量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:m ³ /百万	0.77	0.76
廃棄物排出量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:t/百万	0.099	0.098
二酸化炭素の排出量	単位:KG-CO ₂	131	129
環境目標		2015年度目標	2016年度目標
ガソリン(燃料)使用量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:L/百万	37.1	36.7
電力量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:KWH/百万	142.8	141.4
リビルト品稼動率	目標数値	6.3%	6.4%
水使用量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:m ³ /百万	0.76	0.75
廃棄物排出量を減らす	目標数値	前年費1%削減する	前年費1%削減する
	原単位:t/百万	0.097	0.096
二酸化炭素の排出量	単位:KG-CO ₂	128	127

4. 環境保全に向けた具体的な取組(計画)

(1) 自動車におけるCO2排出を削減

効率的な運転計画をたてて、エコドライブの実施を行う。

運転者教育を実施していく。

ガソリン使用量を定期的に報告し、社員の意識を高める。

(2) 電力、燃料を減らす

節電を心がけて、無駄な電気は徹底して消す様にする。

省エネ型の照明機器導入を検討する。

朝方はエアコンの使用を控え、日中は扇風機、ブラインドを活用して削減を図る。

使わない照明の消灯と、こまめに消灯し節電を図る。

(3) リビルト品稼働率を上げる

在庫管理を徹底し、稼働率を上げる事を目標にする。

コスト削減に務めお客様にもっと安価なりビルト品を提供できる様にする。

(4) 水使用量を減らす

洗浄器等を有効に使用していく。

節水コマを取り付ける。

食堂の洗い場の水をこまめに止める。

(5) 廃棄物排出量を減らす

リサイクル出来るものを見直して、ゴミの削減に努める。

「もったいない精神」を全社員に周知させ、ゴミを削減する。

減量化する為に、圧縮出来るものは圧縮量を減らしていく。

リサイクル出来るものは無いか、廃棄時に必ず確認する。

(6) グリーン購入の推進

事務用品、事務用機器については環境配慮型商品の使用を推進する。

(7) エコキャップ運動への参加

ペットボトルのキャップを捨てずにエコキャップ推進協会へ送付し、焼却により発生するCO2を減らす。

(8) その他

環境に関する情報を収集する。

常に改善を心がけ、全社員で取り組んでいる事を、定期的に報告する。

5. 環境活動への取組結果の評価、次年度の取組内容

(1) 環境への取組の自己チェックと評価

環境目標	目標値	実績	評価
1. ガソリン(燃費)使用量を減らす	39.9	38.2	目標未達成 ○
対前年売上比1%減(原単位:L/百万)			個人の意識を高める事が達成に繋がった。
2. 電力量を減らす	143.9	147.2	目標達成 ×
対前年売上比1%減(原単位:KWH/百万)			猛暑や残業増で電気の使用料増が影響した。
3. リビルト品稼働率を上げる	5.6	6.9	目標未達成 ○
			在庫量を管理し、お客様へ提案していった。
4. 水使用量を減らす	0.77	0.78	目標未達成 ×
対前年売上比1%減(原単位:m/百万)			猛暑で社内外で水撒きの実施が増加になった。
5. 廃棄物排出量を減らす	0.09	0.10	目標未達成 ×
対前年売上比1%減(原単位:T/百万)			細かい業務を見直して、無駄の削減に務める。
6. 二酸化炭素の排出量を削減する	134,010	129,400	目標達成 ○
対前年売上比1%減(原単位:KG-CO2)			売上増だがガソリン等経費削減が達成に繋がった。

(2) 次年度の取組内容

① ガソリン(燃料)使用量を減らす

社用車の空気圧、不要な荷物が積まれているかを乗車前に確認する。

毎月エコドライブに関連する案内を回覧し、社内教育を実施する。

② 電力量を減らす

エアコン使用時の効率を上げるために、扉の開閉をきちんとする。

来客時のエアコン使用も過剰な冷房にならないように、温度管理を徹底する。

エアコンの清掃を定期的に行う。

③ リビルト品稼働率を上げる

在庫管理を徹底し、稼働率を上げる事を目標にする。

コスト削減に務めお客様にもっと安価なリビルト品を提供できる様にする。

④ 水使用量を減らす

洗車をする際、水の使用量を見て無駄の無い様に心がける。

⑤ 廃棄物排出量を減らす

コピー機に、1枚当りに単価を表示してコスト意識を高めて削減に取り組む。

減量化する為に、圧縮出来るものは圧縮量を減らしていく。

6. 順守する法規制一覧と順守状況

法規制	順守事項	確認結果
ディーゼル車の排出ガス規制	1. 車の購入時に低公害車両への買換えを行なう 2. 知事が指定した粒子状物質減少装置の装着を行なう	○
フロン回収破壊法	1. 特定製品を廃棄する場合に専門の業者へ委託する	○
廃棄物処理法	1. 委託基準(マニフェスト等)を確認する 2. 必要事項の掲示	○
資源有効利用促進法	1. 規制対象製品を把握し、正しい処理を行なう	○
自動車リサイクル法	1. 引取業者の確認	○
家電リサイクル法	1. 引取業者の確認	○
PRTR法	1. 規制対象製品の調査 2. MSDSの提供を受ける	○
労働安全衛生法	1. 管理者の選任、届出 2. 委員会の運営 3. 健康診断	○
消防法	危険物の取扱いは指定数量未満(少量危険物)だが、貯蔵 取扱い内容には十分理解する	○

順守評価の結果、環境関連法規制／その他要求事項への違反はありませんでした。

訴訟、苦情等の事項もありませんでした。

また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

1 全体評価

評価 : 二酸化炭素排出量は削減出来たが、電気量、水使用量、廃棄物排出量は増えている。今後はこまめな管理、徹底を図り個別の項目も全て目標に達成できるように努める。

エコアクション21の環境活動の取組みを、管理者ほか全社員一丸となり取り組める社員教育も実施し、社会貢献できる企業を目指す。

2 見直しの結果

社長見直し : 作成日 2013年3月6日 社長 : 杉崎武春

見直し項目		社長指示事項
1	環境方針	2009年度のガイドラインに沿った方針を作成した。
2	環境目標	各目標に対して、数値を下げる工夫・改善に努力することを全社員で意識していく。
3	環境目標（数値管理について）	朝礼時に進捗状況を報告し、実績表を食堂に掲示して意識を高め改善策を検討していく。
4	環境関連法規順守状況	引き続き関連法規類の改正動向に注意し、法令順守で見逃しの無いように。
5	環境保全への取組	全社員で環境問題に取り組める様。委員会で社内体制をとって取り組む事

以上